

超党派で諫早開門要求

自民公明も参加 院内集会

12月7日、衆議院第一議員会館で「よみがえれ！有明判決報告即時開門を求める緊急集会」が開催され、自民・公明を含む与野党の多数の国会議員ら約60名が参加した。



○大串博志(民主・衆) 福岡高裁開門判決は力強く喜びあふれています。民主党はマニフェストで

よみがえれ！
有明訴訟弁護団
(後藤 富和)発行
092-512-1636
090-9602-0700

開門を掲げ政権交代を果たしました。赤松前農相も口蹄疫さえなければ、開門を決断していました。国会全体で今度こそ開門の決断をすべきです。これからの勝負です。判決を得てからが大事になります。原口一博議員は直接菅首相に開門を申し入れ、私も仙石官房長官、古川副長官に申し入れをいたしました。力を合わせて頑張りましょう。



大串博志議員(民主)

○野田国義(民主・衆) 民主党議員の一人として非力をお詫びします。農業用水の問題、防災の問題は解決できます。地元大牟田では塩害も起きていません。

○福岡資麿(自民・衆) 福岡高裁開門判決をよかつたと思う。かつて菅首相は開門に前向きな発言をしていたはず。赤松前農相も開門に向けて検討していた。山田前農相は口蹄疫終息後の参院選後と言っていた。鹿野農相はもはや引き延ばす合理的理由ない。一刻も早く国として開門の判断を示すべき。



福岡資麿議員(自民)

○木庭健太郎(公明・参) 公明党としても諫早湾問題の検討を続けてきた。有明海沿岸各県で様々な意見があるし、農水もいろいろ言っている。ただ、第三者である裁判所の判断は重い結果として受け止めるべきだ。個人的にはただちに開門すべきと思う。農業入植者に対して有明海で漁業被害が生じていることなどを伝えていきたいと思う。



木庭健太郎議員(公明)

○中島隆利(社民・衆) 干拓事業に反対し続けて13年。漁民の苦しさを聞いてきた。与党の諫早湾干拓問題検討委員として現地視察などをし、その結果、赤松前農相が政治決着を決断した。しかし、現在はアセスを名目に開門を先送りされている。

○赤嶺政賢(共産・衆) 福岡高裁開門判決を聞いた時は喜んだ13年間の漁業者の苦勞を聞いてきた。今度

こそ政治は、この期待に応える努力をすべき。有明海の漁民が公共事業に頼らざるを得ない状況は、沖縄県民の状況に似ている。直ちに開門すべきである。

○高橋千鶴子(共産・衆) いまこそ政治決断をすべき。農業と漁業は開門によってこそ両立できる。海を閉鎖すれば汚染するのは当然のこと。有明海も諫早の水門を開けない限り汚染は解消しない。

民主党有明議連・福島社民 党党首・共産党議員団懇談

12月7日、原告・弁護団は、民主党「有明海の再生を考える会」(古賀一成会長)、福島みずほ社民党党首、日本共産党議員団との懇談を行い、有明海漁民がおかれた窮状を訴え、即時開門にむけて相互に努力することを確認した。

有明海の再生を考える会の古賀会長は「司法が2回連続で開門すべきだと判断したことは重く受け止めるべきだ」と政府・民主党に開門に踏み切るよう促した。4月に長期開門を求める座長報告案をまとめた政府・与党の検討委員会メンバーだった川崎稔参院議員も「有明海再生には早期開門しかない。あとは政府の決断だけだ」と述べた。有明海の再生を考える会は、この後、開門を求める要望書を政府に提出した。